



参加型！寸劇で胸骨圧迫体験

令和 7 年 2 月 16 日 シミュレーション！ 避難所開設

『奈良大宮ロータリークラブ』より消防団へと贈呈された災害用大型調理器『レスキューキッチン』の使用訓練を兼ね、大地震を想定した防災訓練が大宮小学校で開かれました。

今回は、災害時に迅速かつ、適切な対応を行えるよう「避難者による避難所開設」の訓練を行い受付や点検担当の選出など避難者に様々な役割が振り分けられ、担当ごとの作業が行われました。訓練に参加した住民は



レスキューキッチンで温かい食事を



煙の中を避難体験

火器使用体験、煙避難体験、地震体験、ドローン飛行訓練の見学などが行われました。

マンションの多い地域では、今回のような「連携の訓練」の必要性も感じました。



地域の皆さんが参加



啓発活動の一例：防災紙芝居



広報指導分団
活動メニュー
二次元バーコード

「阪神淡路大震災」から30年。今日に至るまで「東日本大震災」や、まだ記憶に新しい「能登半島地震」の発生や、多くの風水災害も起きています。ひと昔、ふた昔前とは自然環境が大きく変わり、災害の規模や被害状況も想定外」と言われることが増えてきました。防災に関する情報も日々更新され、昔の常識が通じないことも多々あります。最新の知識を学び、自分自身も防災に関する情報をアップデートしようと考えます。

地域「コミュニティ」の連携 防災訓練

第 29 回全国女性消防団員活性化とちぎ大会

令和 6 年 9 月 19 日 ライトキューブ宇都宮



とちぎ大会スローガン



「今年、『南海トラフ地震臨時情報』が発表された後、備蓄用のお米が品薄になりました。不安のため、買いに行くと客の皆さんに呼びかけをしました。会場には、消防の他に警察、自衛隊、JAF、ALSOK、奈良県消防設備士協会のブースがあり、消防ブースでは起震車の揺れ体験、煙避難体験、消火器使用体験



活動展示一例

全国の女性消防団員が集まり、ステージでは基調講演や防災啓発劇の披露、展示ブースでは多くの団員が様々な形で活動報告を行っていました。今回の報告の中で興味深かったものは、AEDの使用についてのAEDの女性

校生以上の女性に対してのAED使用率が男性に比べて低いという統計があり、AEDパッドを貼る際、衣服を脱がせることに抵抗があることがわかりました。AED講習の際には、パッドを貼った体の上からタオルやシャツをかけて使用したり、使用する人形自体に実際の衣服を着せて指導・訓練を行うことも行いました。もしもの時の勇気ある行動



消防車両の展示

「今年、『南海トラフ地震臨時情報』が発表された後、備蓄用のお米が品薄になりました。不安のため、買いに行くと客の皆さんに呼びかけをしました。会場には、消防の他に警察、自衛隊、JAF、ALSOK、奈良県消防設備士協会のブースがあり、消防ブースでは起震車の揺れ体験、煙避難体験、消火器使用体験



起震車で地震の揺れを体感



応急手当講習

若草山焼き～令和 7 年 1 月 25 日～

約 300 名の消防団員の出発式、野上神社での祭礼の後、山麓の「大かがり火」より御神火を松明にうつし、各担当場所へと移動。花火の打ち上げが始まり、柳生ラッパ隊の合図で一斉点火されると、山全体へと広がるオレンジ色の炎の美しさに、麓で楽しんでいた観覧客からは大きな歓声が湧き上がっていました。

山肌を駆け回る炎



出発式に整列する団員

焼き終わった後は、消火活動・鎮火点検を行い今年も負傷者なく無事終えることができました。

編集後記